

# 土木学会西部支部沖縄会技術委員会

## 平成23年度小委員会活動報告

小委員会名	橋梁長寿命化技術小委員会	委員長	下里 哲弘	幹事長	玉城 喜章
活動予定期間	平成23年12月 ～ 平成26年5月 (2年半)				
活動目的	<p>本小委員会では、塩害環境下にある沖縄の橋梁に対する適切な維持管理技術の確立を目的に、塩害劣化などの損傷事例、原因、および補修補強法に関する事例集をまとめ、橋梁長寿命化技術の発展に貢献することを目的とする（テーマ1、2）。また、劣化橋の残存耐力および耐久性を実験・解析的に調べることで、通行規制の判断資料を提供し、また、補修補強後の劣化橋に対する回復度および耐久性を実験・解析的に調べ、今後の維持管理へ反映させることを目的とする（テーマ3）。さらに、塩害劣化などに強い材料、構造形式、維持管理手法などの技術資料を収集し、今後の新設橋や既設橋への技術資料を提供することを目的とする（テーマ4）。</p>				
委員構成 (26名)	<p>◎下里 哲弘 琉球大学工学部環境建設工学科          ○玉城 喜章 沖縄しまたて協会技術環境研究所          押川 渡 琉球大学工学部機械システム工学科          富山 潤 琉球大学工学部環境建設工学科          川間 重一 沖縄総合事務局開発建設部北部国道事務所          與儀 克明 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課          砂川 勇二 沖縄県土木建築部道路管理課          金田 一男 株式会社 ホープ設計          砂川 章次 (株)中央建設コンサルタント設計第1部          野里 貴哉 株式会社 基土木          稲福 英三 金秀鉄工(株) 生産部          淵脇 秀晃 琉球大学工学部技術部          目取眞 正樹 沖縄総合事務局開発建設部道路管理課          下地 建 (財)沖縄県建設技術センター 試験研究部          我謝 将人 沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課          宮本 健次 西日本高速道路(株)九州支社沖縄管理事務所          久米 仁司 株式会社 南伸          宮城 敏明 株式会社 沖縄建設技研          石川 孝司 株式会社 大洋土木コンサルタント          金城 和成 株式会社 ホープ設計          太田 清志 有限会社 総合設計コンサルタント設計部"          赤嶺 文繁 プレストレスト・コンクリート建設業協会 九州支部          真喜志一寛 日本橋梁建設協会沖縄営業所          仲宗根 基 株式会社 基土木          長嶺 由智 金秀鉄工(株) 生産部          崎濱 秀治 芝岩エンジニアリング 技術部設計課</p>				

<p>活動状況</p> <p>小委員会:2回、 講習会等:2回 幹事会/WG:4回</p>	<p>★第1回「橋梁長寿命化技術に関する技術研究交流会」 ～耐候性鋼橋の事例研究を通して考える低LCC・100年耐久性橋梁～ 平成23年12月8日、参加者50名</p> <p>●第1回幹事会（平成24年1月18日、琉球大学、参加者9名） 議題：テーマの確認、幹事会、小委員会の進め方について</p> <p>○第1回小委員会（平成24年1月27日、琉球大学、参加者24名） 議題：テーマの確認、小委員会の進め方、今後の作業の進め方について</p> <p>★第2回「橋梁長寿命化技術に関する技術研究交流会」 ～遅延膨張性を示す細骨材に関する研究報告・ASR抑制対策の現状と課題～ 平成24年3月9日、参加者80名</p> <p>●第1回残存性能・回復性能ワーキング準備会 平成24年4月19日、金秀鉄工、参加者5名 議題：耐荷力実験の検討（補修方法、実験方法など）</p> <p>●第1回塩害環境調査および事例集作成ワーキング準備会 平成24年5月8日、琉球大学、参加者7名 議題：塩害マップ調査計画策定に向けて、直轄国道の点検診断事例、調査対策事例、県の点検診断事例の損傷対策事例に向けて</p> <p>●第2回残存性能・回復性能ワーキング準備会 平成24年5月22日、金秀鉄工、参加者7名 議題：1）漢那橋の耐荷力実験の検討、2）若松橋の耐荷力実験の検討 3）鋼橋の補強方法の検討</p> <p>○第2回小委員会（平成24年6月12日、金秀鉄工、参加者21名） 話題提供：金秀鉄工所工場見学、工場ヤード仮置き塩害劣化桁の見学 議題：テーマ別の役割分担の確認、テーマ別の作業の進め方</p>
<p>今後の活動計画 と目標</p>	<p>○第3回小委員会（平成24年9月11日予定） ○第4回小委員会（平成24年12月予定） ○第5回小委員会（平成25年2月予定）</p> <p>●WG開催は月1回以上のペースで実施予定。 ・各テーマで個別に活発な活動を実施する。</p> <p>●現場調査（良い事例、悪い事例）を8月毎に行う予定。</p> <p>★講習会等は2回予定している（昨年度同様以上を目指す） ★沖縄会技術研究発表会への積極的な参加と投稿を行う。</p>